

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじん しげやまきょうげんかい 一般社団法人 茂山狂言会	団体ウェブサイトURL	https://kyotokyogen.com
代表者職・氏名	代表理事 茂山 正邦		
制作団体所在地	〒 602-0849 京都府京都市上京区大猪熊町346	最寄り駅(バス停)	河原町今出川
電話番号	075-221-8371		
ふりがな 公演団体名	しげやませんごろうけ 茂山千五郎家	団体ウェブサイトURL	https://kyotokyogen.com
代表者職・氏名	14代当主 茂山 正邦		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
制作団体 設立年月	1967年1月1日(2015年10月2日法人格取得)		
制作団体組織	役職員 代表理事 茂山 正邦	団体構成員及び加入条件等 茂山真吾、茂山晃、茂山正邦、茂山宗彦、茂山茂、茂山逸平、茂山童司 茂山千五郎家で主たる役者を勤める者	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	茂山逸平、中嶋香織
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	茂山茂、鈴木実
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@kyotokyogen.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>【一般社団法人 茂山狂言会】</p> <p>昭和42年に「茂山狂言会」として発足、それより毎年春秋に自主公演『茂山狂言会』を開催 平成6年 四世茂山千作・十三世茂山千五郎襲名公演を東京、京都、大阪、名古屋にて主催 平成27年10月2日 法人格を取得「一般社団法人 茂山狂言会」となる。 平成28年 五世茂山千作・十四世茂山千五郎襲名公演を東京、京都、大阪、名古屋にて主催</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>茂山千五郎家は戦後間もない昭和25年頃から、関西・西日本を中心に学校公演を行ってまいりました。最盛期には年間300校以上で公演を行ってまいりました。近年は少子化や学校予算の減少に伴い、他の引受も含め年間100校程度となっております。</p> <p>また、平成10年頃からは、京都という土地柄から修学旅行での公演も積極的に展開してまいりました。京都の能楽堂で鑑賞していただくこともありますが、旅館の大広間で手軽に、低予算で鑑賞していただく機会を提供しております。</p> <p>戦後、どこよりも早く学校公演を始め、すでに70年以上の実績があります。その間、時代に合わせて演目や演出を変えながら楽しんでいただき、現在の校長先生から「小学校の時に茂山家の狂言を観て面白かったのを覚えてます」というお声を頂戴したりもします。その間に獲得してまいりましたノウハウは、どこにも負けない自負がございます。</p> <p>(茂山千五郎家の直近の公演実績・全て令和5年度)</p> <p>6月7日灘中学鑑賞会、7月12.13日富山国際大学附属高校鑑賞会、9月4日奈良教育大学附属中学鑑賞会、9月15日天理市立西中学校鑑賞会、9月26日同志社香里中学校鑑賞会 10月24日京都府立鴨沂高等学校鑑賞会 など</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>京都の聾学校、盲学校での公演実績がございます。</p> <p>(近年の実績)</p> <p>平成22年10月8日 京都府立盲学校鑑賞会 平成27年11月11日 京都府立聾学校鑑賞会 平成30年9月27日 京都府立盲学校鑑賞会</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

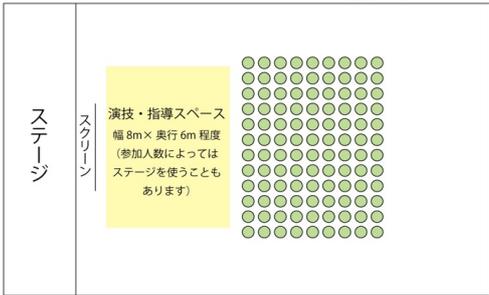
別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容 【公演団体名 茂山千五郎家】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	京都・茂山千五郎家の狂言鑑賞会「The 学校狂言」			
企画のねらい	<p>「古典」や「伝統」という言葉には「難しい」「堅苦しい」というイメージがあります。その様な中、現存する最古の舞台芸能でありながら、喜劇である「狂言」に触れることでそのイメージを壊し、日本の文化全般に興味を持ってもらうことを第一に考えています。</p> <p>また、第一線で活躍する能楽師狂言方の舞台を生で観ていただくことで、映像などでは決して伝わらない迫力を感じてもらいます。その上で「蝸牛」では舞台の上と一緒にカタツムリの謡を謡って、舞台と観客の一体感を創出し、大人になっても記憶に残る大きな体験をしていただきます。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>【仏師(ぶっし)】 「すっぱ」と呼ばれる、ちょっと悪い人が出てきて、都へ上ってきた田舎者を騙す狂言の代表作。物語のクライマックスですっぱが結ぶ仏像の印相は、役者のアドリブ要素があり、一期一会の舞台になります。</p> <p>【附子(ぶす)】 現在、小学6年の一部の教科書に「柿山伏」が載っていますが、その前は、長らくこの演目が教科書に載っていました。一休小僧のトンチ話にもなっているお話しは、いつの時代でも笑いが起こります。</p> <p>【蝸牛(かぎゅう)】 「蝸牛=カタツムリ」誰でも知っているカタツムリを知らない太郎冠者は、藪で見付けた山伏をカタツムリと思い込みます。カタツムリの歌まで歌って、大はしやぎで連れて帰ろうとするところに、主人が迎えにきて……。この演目の終盤に謡われるカタツムリの謡を指導し、舞台の役者と一緒に謡っていただき、会場を盛り上げたいと思います。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	ワークショップと本公演の中で、カタツムリの謡のお稽古をしていただきます。リズムカルで簡単な歌詞の謡は直ぐに覚えていただけます。それを、「蝸牛」の終盤で舞台の役者と一緒に謡っていただきます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	300人程度まで	
		鑑賞人数目安	300人程度まで	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>古典狂言 「仏師」「附子」「蝸牛」</p> <p>【プログラム構成】</p> <p>1・挨拶・演目解説 約10分 2・「仏師」 約20分 3・「附子」 約20分 ～休憩～ 約5分 4・演目解説・謡の復習 約10分 5・「蝸牛」 約20分 6・質疑応答・終わりの挨拶 約5分</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約90分</p>			
出演者	<p>【能楽大蔵流狂言方 茂山千五郎家一門】</p> <p>※茂山千五郎(茂山正邦)、※茂山宗彦、※茂山茂、※茂山逸平、茂山千之丞(茂山童司)、茂山竜正、茂山虎真 ※網谷正美、※丸石やすし(丸石康)、※松本薫、島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之、田賀屋夙生(島田夙生)</p> <p>※印は重要無形文化財総合指定保持者。()は本名 上記よりワークショップ・本公演共に5名で実施(ワークショップが別日の場合は3名) なお、スケジュールによっては(公社)能楽協会所属の能楽大蔵流狂言方に参加いただくこともあります。</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>【茂山千五郎(本名・茂山正邦)】 祖父四世茂山千作、父五世茂山千作に師事。4歳にて初舞台。その後、三番三、釣狐、花子、狸腹鼓など難曲を抜く。現在は茂山千五郎家14代当主として活躍。平成17年度文化庁芸術祭新人賞受賞。平成20年度京都府文化賞奨励賞受賞。平成29年日本能楽会会員(重要無形文化財保持者総合認定)となる。</p> <p>【茂山宗彦】 祖父四世茂山千作、父二世茂山七五三に師事。4歳にて初舞台。その後、三番三、釣狐、花子など難曲を抜く。平成25年度京都府文化賞奨励賞受賞。平成29年日本能楽会会員(重要無形文化財保持者総合認定)となる。</p> <p>【茂山茂】 祖父四世茂山千作、父五世茂山千作に師事。4歳にて初舞台。その後、三番三、釣狐、花子など難曲を抜く。平成23年度京都府文化賞奨励賞受賞。平成29年日本能楽会会員(重要無形文化財保持者総合認定)となる。</p>			

別添	なし
----	----

【公演団体名 茂山千五郎家 】

ワークショップのねらい	<p>まず「柿山伏」を観ていただき、狂言が面白い“笑いの芸能”であることを知ってもらいます。また、教科書に載っている実施校では、活字で読んだものが実際の舞台ではどの様に表現されるのかも観ていただきます。</p> <p>社会の室町時代の文化で出てくる「能」と「狂言」。その歴史や違いを知ってもらうことにより、他の伝統芸能へも興味をもってもらえると考えます。そして、先生にも知識を得ていただくことで、来年以降の授業に役立ててもらえることも想定して内容を作っております。</p> <p>後半の体験の部分では、ただ単に体験するだけでなく「なぜそうようになったのか？」までを知っていただくことにより、本公演での鑑賞がより深いものになるように考えております。また、そこで得た経験や知識は学習発表会など、ほかの学校行事でも活かされることと思っております。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1～200人程度まで
ワークショップ実施形態及び内容	<p>約90分（休憩含む）</p> <p>【プログラム内容】</p> <p>1部 “狂言を知ろう！”</p> <p>1・挨拶 (約5分)</p> <p>2・「柿山伏」の上演 (約15分)</p> <p>一部の国語科教科書に載っている「柿山伏」を最初に見ていただきます。</p> <p>3・能と狂言の歴史と関係 約15分</p> <p>スクリーン・プロジェクターを使用して、能と狂言の共通の歴史、その関係性と違いなどを話します。</p> <p>～休憩～ (約5分)</p> <p>2部 “狂言をやろう！”</p> <p>4・狂言の基本動作 構えと歩き方 (約10分)</p> <p>狂言の基本“腰を入れた姿勢”と“すり足”を、なぜそうするかという理由を説明し体験していただきます。</p> <p>5・狂言の大袈裟な表現 笑い方と泣き方 (約10分)</p> <p>狂言の表現特徴である“大袈裟な表現”を、笑い方・泣き方で体験していただきます。</p> <p>6・狂言の“つもりの芸” 柿を食べる (約10分)</p> <p>何も無い素舞台上に色々なものを想像しながら演技をする“つもりの芸”を、柿山伏にもある柿を食べる仕草で体験していただきます。</p> <p>7・狂言のセリフの言い方 二字上がり (約5分)</p> <p>文節の2音目にアクセントを付ける、狂言独特のセリフの言い方“二字上がり”を柿山伏の台詞で体験していただきます。これは音読の指導にも役立つと思います。</p> <p>8・カタツムリの謡の指導 (約10分)</p> <p>本公演と一緒に謡っていただくカタツムリの謡の指導をします。</p> <p>9・終わりの挨拶 (約5分)</p> <p>【指導体制】</p> <p>指導者 1名</p> <p>補助者 4名（柿山伏の上演と、後半の体験の補助、本公演とワークショップが別日場合は2名）</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>体育館の使用例 ● 生徒・児童</p>  <p>演技・指導スペース 幅8m×奥行6m程度 (参加人数によっては ステージを使うことも あります)</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由 【公演団体名 茂山千五郎家】	
本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>【本事業を通じて実現したいこと】 茂山千五郎家の学校公演ではとにかく「狂言は面白い」を伝えます。 古典芸能への先入観は「難しい」「観ても分からない」だと思います。まずはそれを打破すること。 その時は興味が湧かなくとも、大人になって日本文化に意識が向いた時に「そういえば狂言って小学生の時でも分かったし面白かったな」と、思い出してもらえらるくらい強い印象が残るようにと考えています。 また、ワークショップでは生徒・児童に理解してもらうだけでなく、先生にも積極的に参加していただきたいと考えております。そして、来年以降の国語科の「柿山伏」や社会科の「室町文化」の授業に役立てていただき、私達が直接伝えられない、生徒・児童へも狂言の魅力が伝わればとも思っております。</p> <p>【上記の実現に向けて、実施の工夫】 狂言の面白さを伝えるために、セリフも古典のままではなく、必要ところは小学生でも分かる言葉に直しております。時にはアドリブなどを入れて、より身近に楽しんでいただけるようにします。 ワorkshopでもプロジェクターを使用し、言葉では伝わりにくい内容や、印象に残りにくいものも、分かりやすく伝えるように工夫をいたします。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>【学校との連絡調整について】 当法人は常設の事務所はありませんが有限会社 茂山狂言会と連携し、常に実施校との連絡を円滑に取れるようにしております。 また、実施に際し体育館をそのまま使います。実施校の事前準備も最低限必要なものになるようにしております。</p> <p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】 事前に実施校に意向を確認し、必要があればリモートで打ち合わせをするなど、できる限りの対応をいたします。</p>

別添	なし
C区分で事業を実施するに当たっての工夫	
【公演団体名 茂山千五郎家】	
C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績 これまで多くの地域でのアウトリーチ事業に協力・参加してまいりました。 平成20年度 上越地方アウトリーチ 4公演 平成21年度 上越地方アウトリーチ 4公演 / 糸魚川アウトリーチ 2公演 平成23年度 多摩地区アウトリーチ 3公演 平成25年度 滋賀県栗東アウトリーチ 4公演 平成26年度 大分県アウトリーチ 1公演 / 滋賀県栗東アウトリーチ 4公演 平成27年度 上越地方アウトリーチ 4公演 平成28年度 上越地方アウトリーチ 4公演 平成29年度 上越地方アウトリーチ 4公演 平成30年度 滋賀県高島アウトリーチ 2公演 / 多治見地方アウトリーチ 3公演 令和元年度 滋賀県高島アウトリーチ 5公演 / 多治見地方アウトリーチ 3公演 令和2年度 滋賀県高島アウトリーチ 2公演 令和3年度 三重県名張アウトリーチ 1公演 令和4年度 宮崎県アウトリーチ 1公演 令和6年度 京都府福知山アウトリーチ 1公演</p>
	<p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫 【特殊な事情がある地域での実施にあたっての工夫】 元々大道具などを使わない狂言の特性を活かして、必要最小限度パッケージで巡回できるように工夫をしています。また、体育館での実施が無理な場合、児童・生徒の人数によっては多目的室などでも柔軟に実施いたします。</p> <p>【質を保つための工夫】 能舞台が成立する以前の猿楽では、板を敷き詰めだけの舞台であったり、時には芝生の上で演じてきた歴史もあります。そうしたことから特別な舞台装置を持ち込まなくても、狂言の魅力を十分に伝えられると考えており、その環境でのノウハウも持ち合わせております。例えば、舞台の範囲を限定する装置が無いのを逆手にとり、自由に空間を使った演出を取り入れたりしています。</p>
	<p>③C区分応募における、費用面の工夫 この企画はワークショップと本公演を同日に行うことを想定しております。(ワークショップと本公演が別日でも可能) そうすることにより基本的な経費も削減できますし、離島や僻地への移動時間にかかる拘束などの負担も軽減できると考えております。 本公演は解説など含め10役ありますが、効率よく役を回すことで5人で実施いたします。 上にも記しました通り、舞台機構・装置を持ち込みませんので、車一台(1Boxタイプ)で、役者・装束の移動・運搬を可能としています。 ワークショップ・本公演ともに実施校現地での準備を役者が行いますので、舞台スタッフを帯同させません。スタッフの帯同がなくても円滑に実施できるように、事前に実施校と必要事項の確認を行います。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.6	【公演団体名 茂山千五郎家】
出演者ランク・出演料内規	Sランク(出演料99,000円・能楽協会会員、人間国宝) 茂山七五三 Aランク(出演料66,000円・能楽協会会員、無形文化財総合指定保持者) 茂山あきら、茂山千五郎、茂山茂、茂山宗彦、茂山逸平、網谷正美、丸石やすし、松本薫 Bランク(出演料44,000円・能楽協会会員) 茂山千之丞、島田洋海、増田浩紀、井口竜也、鈴木実、山下守之、田賀屋夙生 Cランク(出演料22,000円) 茂山竜正、茂山虎真 ※金額は消費税込み ※スケジュール上やむを得なく他家から客演を招聘する場合も上記条件に合わせて支払う。	